



東京都

東村山市

ワンランク上の
ベッドタウン
笑顔繋がる東村山



人口 151,815人 面積 17.14 km²

都市の特長

東京都心から30km圏内に位置することから、ベッドタウンとして開発が進められた。武蔵野の面影を残す雑木林や点在する農地など、豊かな自然環境が残っている。



東村山市

HIGASHIMURAYAMA CITY

SDGsオープンラボを通じた産官学金連携

通勤に時間を要するベッドタウンであるため、子育て時間の不足が生じやすいという課題と、地域経済循環率が約75%と低い値であり、地域産業の振興が必要という課題が存在する。子育てでデジタルワンストップサービスを活用し、市民ニーズに合ったプッシュ通知を行うとともに、女性デジタル人材育成事業により女性の所得向上・地域経済活性化を図る。

01 子育てでデジタルワンストップサービスを活用した情報集約と全市民への発信

デジタルで地域の課題を解決し、子育てしやすい環境づくりを実現するため、『子ども子育てワンストップサービス』の提供を予定している。パーソナライズドポータル、予約申請サービス、デジタル子育て講座サービス、オンライン子育て相談サービスといった4つのサービスのIDを統合し、一体的に構築することで切れ目のないワンストップサービスの提供を可能とする。利用者一人ひとりの属性や興味に応じた情報をプッシュ型で情報提供することで、訴求効果を高め、市民の意識啓発や行動変容へつなげる。

サービス・情報を集約



02 女性デジタル人材育成事業

本事業では、就労を希望する離職中もしくは非正規雇用の東村山市在住の女性に対し、市場価値の高いITスキルやDXの基礎知識を習得するための教育をEラーニングで実施し、デジタル人材を育成する。育成後は、在宅環境でできる仕事を、市内事業者優先で紹介し、東村山市の女性の所得向上並びに地域での雇用創出、経済の活性化につなげる。

女性デジタル人材の育成



03 「東村山市わたしたちのSDGsオープンラボ」を通じた各分野の取組の活性化

市に関わる全ての人(行政、市民、事業者、団体等)がSDGsをキーワードに自由に交流・連携するプラットフォームを構築。2023年11月時点で260を超えるステークホルダーが参画しており、実証実験や社会実験などのステークホルダーとの連携や新たな取組を生み出すフィールドになっている。今後は「子ども子育てデジタルワンストップサービス」で構築する情報基盤に集約されるデータを活用して、新たな取組を検討する。

多様な参加者によりイノベーション促進



各取組の詳細はこちら

取組 01



取組 02



取組 03



コラム



インタビュー

Interview

01 「楽しい」を持続可能な力に変えて



東村山市 経営政策部 企画政策課 主査 高木 文彬 さん

SDGsオープンラボは、特定の事業者運営に委ねるのではなく、市民や事業者の自発的な活動により、支えられているのが特徴です。この活動を継続するために、参加者が「来てよかった」「次はあの人を連れて来よう」と楽しめる場にするを大切にしています。「楽しい」を持続可能な力に変えてオープンイノベーションを生み出すことで、住みよく、働きやすいワンランク上のベッドタウンを目指します。

市内で活動中
キッズSDGs
アンバサダー



02 女性のITスキル獲得により達成できること



(左) 株式会社フォーバル DX事業部 DXソリューション部 部長 江崎 浩生 さん



(右) 株式会社MAIA パブリックセクターユニット 女性活躍推進チーム シニアマネージャー 田代 明子 さん

この取組でのITスキル習得により、時間や場所の制約のため就労を諦めていた女性が、高単価で柔軟な働き方が可能な仕事に就くことができます。これにより、IT関連人材不足と男女間の賃金格差解消を目指しています。さらに、女性デジタル人材の育成・企業とのマッチングを行うほか、市内中小企業のデジタル化支援(市内事業者へのセミナー、研修、専門家による伴走支援等)も同時に行うことで、市内の雇用創出と経済の活性化を目指します。

Column

地域通貨「アインPAY」の導入により、地域経済循環率の向上を図る。さらに、市民のSDGs推進などの取組にポイントを支給する仕組みにより行動変容を促進する。



今後の展望

子育てでデジタルワンストップサービスとデジタル地域通貨の運用を2023年度中に開始する予定である。「東村山市わたしたちのSDGsオープンラボ」は、SDGsパートナーを中心とした活動の自走化を目指す。また、東村山駅の連続立体交差事業に合わせ、駅周辺の整備をすすめていく。社会実験マーケットイベント「そらいち東村山」の開催により、周辺整備の方向性を検討していく。



- 1 武蔵野の原風景 雑木林
- 2 住宅の近くに農地が点在
- 3 東村山の名前を広めた志村けん氏
- 4 北山公園の花菖蒲
- 5 再整備が予定されている東村山駅前
- 6 国宝 正福寺